

日冷器創立50周年記念座談会

（前頁より続く）
原 そんなにじゃあ、バネをつくるにあたつての、冷媒フロンの変遷というのは、そこでまど。
河内 逆にいうと、低GWP化に関しては、ある程度対応しています。っていうところなんです。
原 CO₂とか、そういうのは全然関係ないっていう感じですか。
河内 CO₂発泡というのは、世の中の的はあんまりないですけど。
原 あるんですか。
河内 あんまりまなかなかつたみたいで。断熱性能とか、そういう方面にくと、あまりよろしくなかつたみたいです。
原 性能面？

今後10年を見据えて

「ところで、今後10年後を見据えているんなら、もちろん捨てる今のままの製品ではいけない。今後の市場で、製品改良と開発とか考えているかと思うんです。今後、SDG'sが2030年を年度目標とし、C N2050が2050年というところで、まだ先ではあるんですけど、直近というと2030年のSDG'sの目標というのがあの中できつこうと後の中、きつこうとした変化や今後の情勢に対してどういった取り組みを目指してきたいのかということも含めて、日本冷却器具工業会の次の10年にに向けて、とうとう貢献をしていきたいかどうかということを順着にお話しただければと思います。」

技術委員会のネタにもなる、役員会も兼ねるべく、今後はいろいろなことを進めたいと思っています。これはもう、思っていますね。例えば、GW Pの規定が1500以下になりますので、その辺りからは対応できたほうがいいのではと考えています。

今後10年という、なかなか難しいんですけども、例えば流石のものじゃないですけど、うちのAIですね。業務として取り組んでいくか。人手が減っていくっていうことは、その人が減った分、別のところの方が少ないと、別々と同じ仕事量ではないです。ですから仕事の身を考え直す必要はないって言うのが、今書かれていると思うんですが、図面描いてたものが、今はCADで図面を書くん、書かれるんと思うんですね。会社さんによっては、もう3DCADも多いんですよ。3Dプリンターは、もう身近なものであって、エンゲル長であったとしても、エンゲル率の向上、あと環境規制の強化、これも工場の間の関係、あとは新橋の関ということでIoTだ、というのをAを用いたシステム向上させようという、4つの観点から見ても、今、必要とされている製品とかユニークさされていくなと思うんですけど、今後も拡充がユニークさ、マーケティング、市場開拓されなくなるような回答を頂いているので、ちょっと不安を感じているのかなと思います。

CNの話なんですけど、050年まで実質排出量を口にするというのを、熱交換器関係、ユニットクーラー、どうにかそういうことが実現しているかなというところが気になるかなと思います。

「国利に難しいのかな？」

須田 私どものほうはファンサービスなので、工業会さんに対してできることというのはいない。ジールさんでいえば、だいたいは絞られてくると思うんです。ジールさんであれば、既述のCファンという省エネ型のファンが出ていたり、N型さんでも最初のほうに農場のファンのお話をされました。農場のファンも我々、3年ほど停滞しているんですけども、あれも省エネタイプから始まってインバーターファンとか電子ブラシレスモーターで、省エネのほうになっていたので。ファンメーカーは多分でも10年後とかいったら、ジールさんのEファンみたいなファンがもてかたなら主流になっているんじゃないのかなと、そう思う気がしますね。阿部

結してR&Dのほうで、新開発を求めているんです。世の中の流れ的に、皆様お役に立てるような形の製品開発をこれから続けてもらって、それを日本市場はもう多くご採用頂けるように、私も頑張つていきたいと思います。日治器の會員企業の皆様にできることなんでしょう。うちの製品でこんな風を起すだけということになってきますので、いかに弊社の製品で効率がよい製品と、あと皆様につくって頂うニックスクーラーでいかに効率的に製品をつくれるかというのを皆様と協力しやっていきたいと思っておますので、また今後ともよろしくお願い致します。

原 ありがとうございます。いまは、

はい。テフロストの効率と相性は、テフロストというところは、常々思っているんですけど、10年ぐらいで自分ができた方がいいなとは思ったりはしますね。

原 テフロストは熱交換器メカとして、究極はいくつか。究極は霜が付かない熱交換器があればいいんでしょ。うけれども、あとは熱ヒーターを過剰にするとか冷庫庫の電力がオーバーするとか。いろいろな研究、この辺はもう難しいことですよ。各社の企業努力もあれば、うちで関与しての共同でやるかどうかというのは難しい判断になりますね。分かります。ありがとうございます。中山さん

中山 まず初めに、今、河内様がおっしゃったものは共

[illegible]

すよね。直近の対応で必要と
いうことでは、タイセいの池内さ
ん、お願いします。最後に
池内 すみません。最後にな
ったので、ほまほま、皆さ
んに言っていたんだけどすな
う内容に尽きるのかなと思う
んです。クローメーカールと
して、やっぱり、先ほだ武智
さんがおっしゃったみたいな
効果的なイクラールの開発に
限るとは思いません。

SDGsの観点から言いま
す、これは私の考えなんです
ですけど、材料の調達から廃棄
まで考えた、循環できるよう
な製品。具体的にこんなやう
で言われたら難しいんじゃない
けど、そういうものも考えて
いけたらいいのかなと思って
おります。

10年を見据えたということ
で、まあ、今あるところから
で、1粒で3度使いの1に探
めには、やっぱりこの会社は
一番、いいな思ってますね。そ
うな思ってますね。そのた
めには、知り合いを紹介して
たので、知合いを介してもち
くたという会社と想うのの
で、動かしやすい会社をつく
るのが一番かなと思います。

あとは、チャットGPTと
いうのが出ましたけど、製造
業は最終的にはものをつくる
人だけで完結してしまうかな
というふうに進化すると思
います。今の会社でも設計
計畫書の見直しとか、代々古
文書のように言い伝えられた
設計資料とかを整理して、
データベースで管理されて
ます。私の所も含めて、ベテ
ランが偉そうに設計計畫を
語る時代じゃなくて、AIに入
力すればクローラ設計が
来上がるというみたいな時代
が来るんじゃないかなと思
います。

「うん、研究費とかも、共同開発じゃないですけどね。日器として、今後10年で取組んでいくべきテーマがあれば、そういうものも併せていろんな意見をいただきたいですね。あ、おは。その背景として、やっぱり昨今話題になっている日本の人口減少というのがありますので、どうも人口減少によって食事、口が減るということ、冷凍食品であったり、込み込み食品の需要の落ち込みも考えられますし、各社さんの採用関係にも影響があると思います。大きく分けて、SDGs、C.N.、2030年50年を目処として、」

「そう、その延長線上で、また新しい技術や導入して、手間等をかけなきゃいけない、人手を掛けなきゃいけないような仕事っていうのを、まね極めて、分担していくように考えなきゃいけないんじゃないかなと思います。」

「原。ありがとうございます。AIに関しては、今、ホントな話題でもうんね。いろんな業務効率化で、我々が淘汰されなければならぬという状況ですね。」

「では、続いて、サンライズの阿部さん、お願いします。」

「阿部。ちょうどAIの話が出てきたので、ちょっと話をさせていただきます。うちの」

「やれるものとして、いや、熱交換器としての効率を上げる。あとは効率を上げるためには、どうすればいいかっていうところ、除霜の最適だったところ、風量も調整したりとか、あとは熱交換効率、単品でいえば、フィン形状や、あつたりとか、電熱のいいところ、銅よりいいところはないですね、銅がないですけど、そういう新しい材料についても今もトライしていく必要も出てくる可能性もあるかなと個人的には思っています。」

「フロンのはの排出削減っていう話もあるんですけど、2018年の政令の施行と、これまた2040年だと」

でも、もう一つ、
の効率がいい
ものという
中で、ファン
の消費電力が
少なければ
よいという
感じに
なるとい
う。そうい
うような私の個人的な感想と
いうか、感覚で話します。
10年後にはもうファンのほう
は、そういう流れになって
いるんじゃないかなというふ
うに思っております。
原 あるいはどういふまじ
たでは、ジョーの島村さん
お願いします。

島村 特化ですか。各
国に特化したというのでは
ないですか。

今、6割が研究開発費つ
て、すごい額だなと思っ
て、すけど、地域特化とか、
本市場に特化したB2Fファン
とか、アメリカに特化した
とか、そういうのってあるん
じゃないか。

同開発させてもらいます
けど、いつでも言ってもえれ
ば新編まで行きますので、10
年以内にそれを二階にやって
いきますので、よろしくお願
いします。

SDGSに関しては、うち
の会社はそんなに10年後つ
いてるのは、進歩はないとい
うのは、正しいと思います。

温度グライドのある冷媒に
対応したJ—Sを

井手　　「そうですね、特にならなくて、やっぱり酪農家さんとか、き合いが多いんですけど、製品在庫過剰問題であったりとか、そういったところから、社内の給食費、乳製品を取り入れて消費をやすとか、そういった取のりもしております。」

原委員　「あとは、CNの関係でいいますと、COのエネルギー電とつか、再生エネルギーほうの購買に切り替えます。COを美質ゼロにするような動きもたつております。皆さん参考になれます。ぜひ、ご紹介させていただきます。」

原　「ありがとうございます。」

で少し触れたんですけども、
原 技術委員会が次の年、
原 チャットGPTに研究
プロジェクトがかかったよう
です。あともう一つ、人口減少
が少し触れたんですけども、
原 3時間弱なんですけども、
原 長い時間、皆さんありが
たうございました。
原 うちの子会社の議
事なんですけど、当社も、前
社長時代は社長がいなくて、
のほうか会長の盛り上がりで
全然違うというのがあったん
ですけども、皆さん、役員
の方がいなくて、私が意想
像のとおりもうこんな意想
見、話を持ち上がったと思

組みであったり、日給器での開発テーマであったり、あとは人口減少社会における今後の取組です。ね、いろんなテーマがあるんですけれども、それぞれ自分の考えつく内容で、皆さんのご意見を頂戴したいなと思います。

じゃあ、井手さんから、すてきなんですけど、日本冷

ファン消費電力が少なけれ

パネルでデフロストの効率向上

中山がChatGPTというオープンAIのチャット機能で今後の冷凍ユニット市場はどうかという質問をしたところ、今後も堅調な成長が期待されるというようない回答を頂いております。その

質0.5億トン排出していないと、ただCO₂排出量であって、10億トンぐらい排出量はそのうち、フロンの排出量は0.4億トンぐらいなので、一割を占めているんですよ。じゃあここがー

[illegible]

場ですけれど、ユニットクーラーと冷凍機を交換するかなと思っただけ、お客さん、交換しなさいって言うんですけど、見ると、タカミ冷凍機さんのR22が付いていっているんですけど、さういってですね、森さん、お若いんですけど、ぼんぼん冷えてるんですけど、問題ないから変えなすってわかれちゃつた。そればもの良過ぎで、ちょっと困るんですけど、それ以外のユニットクーラーはいいもの、皆さん、使ってます。いいもの、思ってます。ユニットクーラーと冷凍機を交換するかなと思っただけ、お客さん、交換しなさいって言うんですけど、見ると、タカミ冷凍機さんのR22が付いていっているんですけど、さういってですね、森さん、お若いんですけど、ぼんぼん冷えてるんですけど、問題ないから変えなすってわかれちゃつた。そればもの良過ぎで、ちょっと困るんですけど、それ以外のユニットクーラーはいいもの、皆さん、使ってます。いいもの、思ってます。

人口も減っていくという中
でも、もちろん採用の難しさ
とか、あとは食事自体が減っ
ていくと消費される食料品
も減っていくという中で
こういうことが必要なんじゃ
ないかと、例えば採用の同
じにこういうことをやるとる
とか、人が入りやすいよう
な対応をしてみますとか、ち
ゃんと壮大なテーマになら
うと思ふんですけど、何かし
ら会社さんのほうで取組んで
いることがあれば、ご紹介頂
ければいいかと思つているん
です。ありがとうございます。

池内　社長とかうなんで

結構、日本冷却器工業との
この業界に対して密につ
ながりがあるのを強く感じ
ましたので、今日は聞く感
じで出しましたけれども、共
同研究を開発するという形でも
いと思ふますし、技術委員会
の新しいテーマに結び付けて
いきたいと思ひます。せっかく
こうして集まっていますのです
から、何か意見を出し合ひな
がら、何か協力して、皆さ
んで発展していければ会の目
的としていいのかなというふ
うに思ひます。

日本冷却器工業会自体も持

れはいいないかなという内容でいくと、次のフロンの話があったと思うんですけど、もう今後出てくる冷媒って、どうも温度がフリードの大きい混合冷媒がすごく多いんですよ。なので今、日石器が持っているJIS規格、あれの対応としては、温度グライドのある冷媒に対応しなければ

「エナジーを生産するのにお金がかかる。一番0%を消費するんですよ。それが80%以上出ますよ。」それが80%以上のあたりまですべてのことと、やっぱりワゴンとかよりも、やっぱりミニバンだったところから、輸送もそうすけこうと、そういうところのほうが排出削減の効果としては大抵はいいかな、個人的には思っています。

これからはちやていくかも、ないかなんぞでも、なかなか先ほども須田さんがおっしゃられていた、フーンの効率とそこなふでこそ、やはり目指すところは、多分そなたにくるかと思うんですけども、

「ここから」って、たいてい、アパレルのファッション市場向けのファンをつくるという大きなことばっかりです。

原：ありがとうございます。それでは、ソーの河内さんお願いします。

河内：SDGのこと、テーマがちゃんと柱で、どうしようかなと思っただけで、

「もう一度、開業を志す」ということを、やろうとしている方々の声を聞きたいので、

原：よくあるのが、「ヒーターのモーター部分からの水の侵入とか。御社じゃないと思うんですか。正確に言うともんだ部分の亀裂・劣化といふんですね。そこから水

原 ありがとうございます。これ
 際 結構あれですね。クー
 ーメーカーだと、20年前
 年間の部品、フロンを交換
 したときに、ドレンの交換
 のためとか、結構長使して
 いるお客さん多いというさ
 りで。長く使うのがSUGS
 貢献にもなるのかなと思い
 ます。

あ、工業会社じゃないん
 すけれど、これは先ほどは
 フロスターのよい、これ
 はヒーターというわけなん
 じゃなくて、適切な配置を
 味したトータルで省エネ効
 率のよいクーラーを開発し
 てきたというのと、会社とい
 う、個人的に思っています。

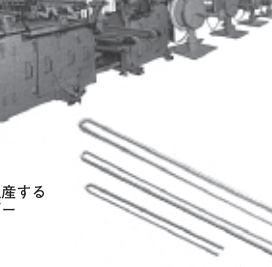


かたはれはいいないとは思いますが、皆さんのご協力、これでかまわずしくお願いします。皆さん今日はありがとうございます。

一同 ありがとうござりました。

を保証します。

様々なニーズに対応するため、
に努めています。



を生産する
ベンダー

▲ヘアピン

株式会社 大倉アクト

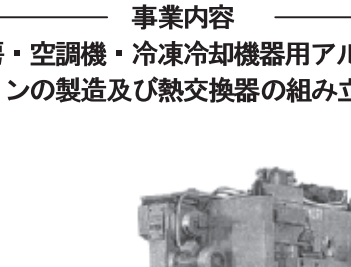


千葉県野田市上三ヶ尾 259-1
TEL 04(7125)5131 FAX 04(7125)5133

確かな技術と最新の設備が、高品質

優れた製品は、確かな技術によって生み出されます。大倉アクトでは、時代のライン化された効率的な生産体制によって、高品質の製品を安定供給できるよ

事業内容


冷暖房・空調機・冷凍冷却機器用アルミフィン、銅フィンの製造及び熱交換器の組み立て

▲効率的に微調整をこなすフィンライン

▲精度の高いフィンを生み出す
ドロレスフィンダイ

▲効率よくヘア全自動ヘア



ACT

〒278-0000
電話 04